

愛染会従業員 殿

公益財団法人岡山県愛染会

トイレ便ふた破損の事故について

下記のとおり事故が発生しました。特に1名で作業を行う際は、作業現場に異常がないか確認をし、異常を発見した場合は職員、会に報告をしてください。会の従業員が複数の事業所は、他の従業員にも異常内容を報告しましょう。また、体調不良が原因で大きな事故に繋がる場合があります。体調管理には十分注意をしてください。

① 内容

- ・男子トイレ（個室）のウォシュレットの便ふたを破損した事故が発生（令和5年2月）

② 発生状況

- ・トイレ清掃時、水を流すレバーの下部を拭く際発生した。
- ・身体を安定させる為に左手を洋式便ふた角（プラスチック製）についたところ、バキッと音がし便ふたにひびが入り一部割れた。

③ 原因

- ・常日頃から今回の周辺を清掃する際、その部分に無意識に左手を置く習慣があった。
- ・左手にかなりの体重がかかった。
- ・一気に破損したわけではなく、徐々にその箇所に亀裂が入り破損したと思われる。

④ 対策等

- ・清掃に入る際に必ず現場に異常がないかどうか確認点検を行い作業に入る。
- ・壁に身体を支える為に手を添えない（汚れの付着原因）。
- ・水を流すレバーの下部を拭く際は、水を流すレバーの上部に（右又は左）手を添えて作業する。
- ・洋式便器（ウォシュレット本体操作部）の反対側面に立ち作業する。
- ・すでに破損している箇所は事業所職員に伝える。
- ・プラスチック製（ウォシュレット本体・便座・便ふた）の部分は、強い力や衝撃を与えない、便座・便ふたやウォシュレット本体の上に乗らない、重いものを載せない。